

ビルメンテナンス業におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	8～9	ホール清掃業務終了後、帰宅するため駐車場に停めていたマイカーまで小走りで移動中、凍結した路面で滑り転倒し、左手首を骨折した。	56	1～9
1	20～ 21	風呂の栓を確認作業中、大浴場の露天風呂の栓を確認しようと、風呂の縁が凍っているのに気付かずに縁へ上がり、滑って浴槽の内へ転げ落ちてしまい、右手をついたために右手に全体重がかかってしまった。	72	1～9
1	13～ 14	事務業務中、印紙の購入のため支局から徒歩で郵便局へ行くために外出した。郵便局へ向かう途中の路上で、積もって凍っていた雪によって右足を滑らせ、右前方へ転倒し右手首を痛めた。	58	10～ 29
1	12～ 13	研修に参加後、戻る途中に雪道で転び、左足首を骨折した。	49	—
1	5～6	会社駐車場で、仕事を終えて帰宅しようと自家用車のエンジン始動に向かった所、早朝で駐車場が凍結していたため転倒したことで負傷した。	63	10～ 29
1	14～ 15	日常清掃作業で、3F屋上の灰皿を処理する為、屋上塔屋の周辺を歩いていて、突風にあおられて飛ばされてしまい、2Fの屋根部分に落下し負傷した。なお、屋上にフェンスは設置されていない。	70	100 ～ 299
1	13～ 14	裏庭清掃中、枯葉の上に足を置いたらすべり右足を痛めた（踵後部骨折）。	72	10～ 29
1	8～9	会社に出勤するため、会社所有の駐車場に車を止めた。駐車場を歩いているときに、週の初めから降り続いた雪の影響で地面が凍結しており、足が滑ってそのまま仰向けに転び、後頭部にけがをした。	63	1～9
		バスの車庫での作業を終えて事務所に戻ろうとした際、車庫の前で右足を滑らせ		100

2	5~6	仰向けに転倒して頭を強打した。その後勤務を終え帰宅してからも具合が悪く、嘔吐したことから救急車で病院に運ばれた。	67	～ 299
2	14~15	凍結した道路上で除雪作業中に転倒しそうになる。その際に右足で身体をかばったため、腰を痛める。その後、右下半身（右股関節、右ふくらはぎ、腎部等）からも痛みが発生した。	30	30～ 49
3	6~7	門衛業務中、第1駐車場の駐車スペースに前夜に降った雪が薄く残っていたため、白線が見えるように除雪作業を行っていたとき、凍結していた路面に足を滑らせ後方に転倒し、頭部を強打した。	63	30～ 49
3	6~7	地下駐車場D階段地上出入口付近の除雪作業を実施中、凍結路面に足が滑り転倒し、左足側面を強打した。	62	100 ～ 299
3	0~1	校舎外周を巡回警備中、凍結した地面に雪が積もり、足を滑らせ転倒した。転倒した際、仰向け状態で右手首が自分の体の下になったまま氷の塊の上に転倒したため、右手首に激痛がはしり動けなくなり、救急搬送され、右手首骨折と判明した。	40	300 ～ 499
4	11～ 12	日常清掃に入っている現場にて、従業員用の風呂清掃を行う際、風呂のフタを閉めて段差を1段下りたところ、床が濡れており（タイル）、そこで足を滑らせ転倒し、左腕を床に強打した。	48	30～ 49
4	15～ 16	小学校の敷地内において、土手（ノリ面となっている）の草を草刈作業中、1.2m程度の高さより下の道路に落ち、腰の骨を折り頭を打って一部切傷した。	67	50～ 99
5	10～ 11	高圧ケーブル引込み電柱周辺にて、樹木の枝を除去するために移動中に斜面を脚立を持っていたため、雑草や落ち葉等で足を滑らせ転倒した。その際、脚立のアルミ部分で右足を打撲した。	66	100 ～ 299
5	15～ 16	清掃作業中、窓を拭いた後、狭いスペースであるにもかかわらず注意しておらず、備品のテーブルの脚に足をぶつけてしまった。赤くなっている程度だと思い帰宅したが、その後、骨折していることが分かった。	49	50～ 99
7	12~13	1階食品売場で冷ケースの結露のふき取り作業中に、冷ケースの下から出てきた	44	30～

		ムカデに右手人差し指を噛まれた。腫れと痛みがひどかった。		49
7	20～ 21	施設の敷地内にて、車両出入口のゲートの施錠をしているとき、右足を何かに噛まれたような激痛があり、救急車にて病院へ搬送され治療を受けた。受診の結果、ハブによる咬傷と診断された。	67	50～ 99
10	10～ 11	マンションの広場の庭園灯の拭き清掃中、屈んで作業していたが、強風に煽られバランスを崩して転倒した際に、頭部を強打した。その日は、定時迄、作業したが、調子が悪かった。	71	500 ～ 999
11	16～ 17	パチンコ店立体駐車場内にて7.5Fから除雪作業にて7Fへ移動したところ、2m程歩行し床（コンクリート）がブラックアイスバーンとなっているのに気が付かず、アイスバーンの上を歩いた瞬間体を捻りながら転倒した。右顔面擦り傷および右足股関節部恥骨骨折。	67	100 ～ 299
12	12～13	立体駐車場で誘導案内業務を行っていた。屋外駐車場の誘導業務を終え、駐車場管理室に戻るため、屋外駐車場からP3階へ下りる車路（下り勾配）の左側端を歩いていたところ、凍結路面で右足を滑らせ、右方向へ体勢を崩し、右手首を路面についた後、右肩も路面に接触した。右手首に痛みがあったため、当日に受診した。	73	1000 ～ 9999
12	10～11	厨房内にて作業中、ホテル側から除雪作業をするのに駐車場に停めている車を移動するように言われて駐車場に行った所、道路がアイスバーンの状態だった為滑って転倒した。とっさに左手をつき痛みがあり、病院に行った所、骨折していた。	65	50～ 99
12	7～8	前日からの泊まり勤務の際、勤務場所である水道局にて巡回警備中に、敷地内車庫の前で氷に足をとられ転倒した。しばらく勤務したあと病院へ行き、右足首と右足かかとの骨折と診断を受けた。	70	300 ～ 499
12	6～7	大学敷地内の駐車場において、出社のため自家用車を駐車場へ停車し、徒歩で建物へ向かう途中、圧雪・凍結路面で足が滑り転倒し、尻もちをついた際、左手を負傷した。	66	500 ～ 999
		清掃を終え、センターハウスへ移動するため敷地内の屋外を歩行していた際、除		500

12	14~15	雪車による除雪後の凍結路面で足が滑って転倒し負傷した。当初は就業していたが、痛みが取れないため病院に行ったところ骨折と判明し、休業する事になった。	60	～ 999
12	21~22	夜間の施設外回り巡回中に凍結していた路面にて足を滑らせて後方に転倒し、後頭部をアスファルトに強打し一時的に意識を失った。施設内のモニター監視を行っていた同僚隊員が転倒に気づき、現場に駆け付け、負傷者を肩で担ぎ施設内の警備室まで運んだ。そのまま終業時間まで休憩し、終業後に通院した。巡回中は、懐中電灯を肩からたすき掛けし、左手に持ちながら巡回していた。靴は革靴を履いていた。	69	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html